

看護ゼミにゅーす 第7号

2013年1月18日 看護ゼミ報告 (1/23発行)



学習企画「がん看護」研修報告

6 西 佐藤紀子さん

千葉県看護協会で10～12月に6日間行われた「がん看護」に参加した学びの発表でした。緩和ケアの概念について、ていねいに伝達。明日からできることとして“患者さんと一緒に痛みの評価をし、痛みによって障害されている日常生活に注目してケアを行いましょう”を教えてもらいました。



「健診センター活動報告

～保健予防における看護師の役割～」

健康管理室 入江加奈子さん

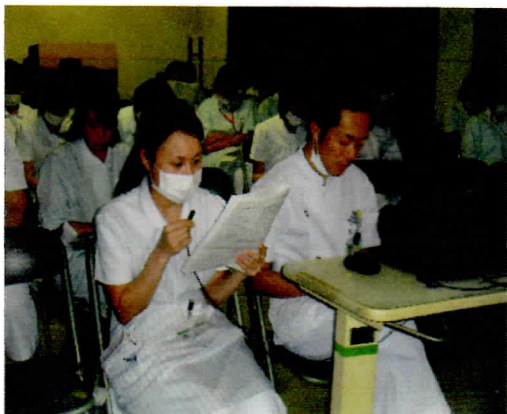
健診センターでの看護師の役割だけでなく、所得によって健康格差があること、生活習慣病といわれる病気も自己責任ばかりではなく社会的な要因を持っていること、など多くの問題提起をしてくれました。「労働者の健康」が守られにくい不況の現在、健診センターはそんな労働者の医療の窓口になっています。



「患者にとって快便とは…」

5 西 黒坂実華さん

イレウス（腸閉塞）を繰り返す患者さんの事例に寄り添うため、まず下剤についてチームで学習し、個々の排便習慣を知った上で、患者参加型で看護展開しました。そして「温電法・のの字マッサージ」で排便が促されるという効果を実感！看護の“手”を使って、患者さんの快便を追及しています。



参加者は45名 “看護ゼミにふさわしいアカデミックな発表でした”

（終了後の内田総看護師長さんのコメントです）

次回の看護ゼミは、2月15日（金）17時～18時です。事例発表は3階と6西病棟の予定、「ポートフォリオの取り組み」報告もあります。皆さんの参加お待ちしております！